



林業プロジェクトについて

林業プロジェクトの展開

林業再生プロジェクト (H17~H18)

林業飛躍プロジェクト

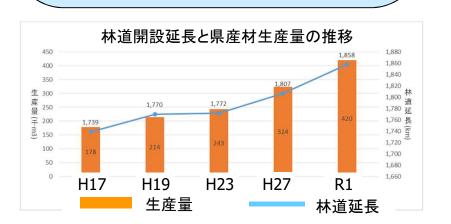
(H19~H22)

次世代林業プロジェクト

(H23~H26)

新次元林業プロジェクト

(H27~H30)



R1~ スマート林業プロジェクト

ー 県産材の 生産・消費量

〉H29:37. 5万m3 [

R10:**70万**m3

新規林業 就業者数(累計)

H29:352人

】 R10:**800人**

林道は生産基盤として位置づけられ

林内路網開設延長 H29 7,567km → R4 8,310km

年整備目標 145km うち林道 15km/年

林道の概要 林内路網のイメージ ~林道の位置付け~



豊かな森林環境を守る林道に

モザイク伐採 広範囲で森林へのア クセスが可能となった 尾根部を中心とした線形 ①森林の適正管理 ②植林・保育・森林管理の省力化 ③沿線一円で間伐が可能 ④伐採が集中しない、モザイク間伐が可能

昔の林道のイメージ





- ・谷合を奥まで突っ込む
- ・上流部の森林を一斉に皆伐する
- ・林道が崩れ谷があれる

林道が担う役割



大型林業機械の導入



- •生産性向上
- •森林整備の促進
- •労働条件の改善



日頃からの森林管理



交通ネットワークとしての役割



- ・生活道として
- ・緊急時の代替路として
- •森林レクレーションのためのアクセス道



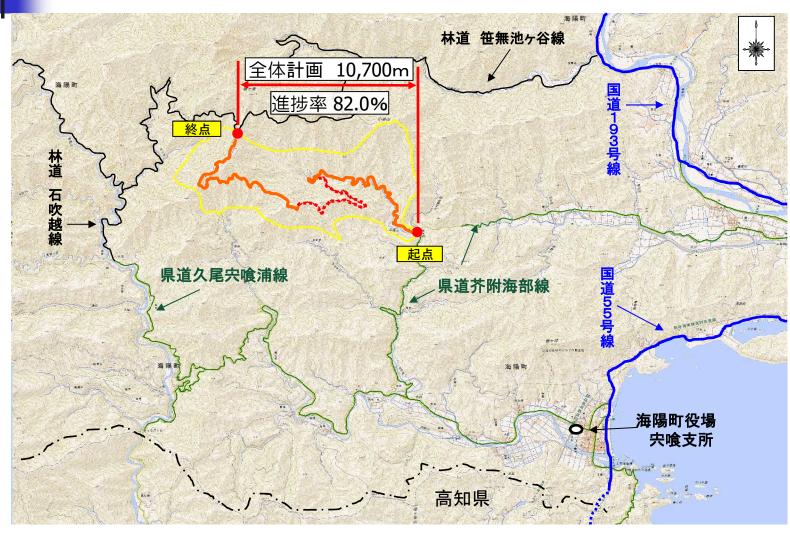
令和2年度 徳島県公共事業評価委員会

1 林道開設事業 広岡池ヶ谷線

2 林道開設事業 樫尾阿佐線

林道 広岡池ヶ谷線 位 置 図





林道 広岡池ヶ谷線 位 置 図



広岡池ヶ谷線



林道 広岡池ヶ谷線 費用対効果分析

評価期間(75年間)=事業期間(35年間)+耐用年数(40年間)

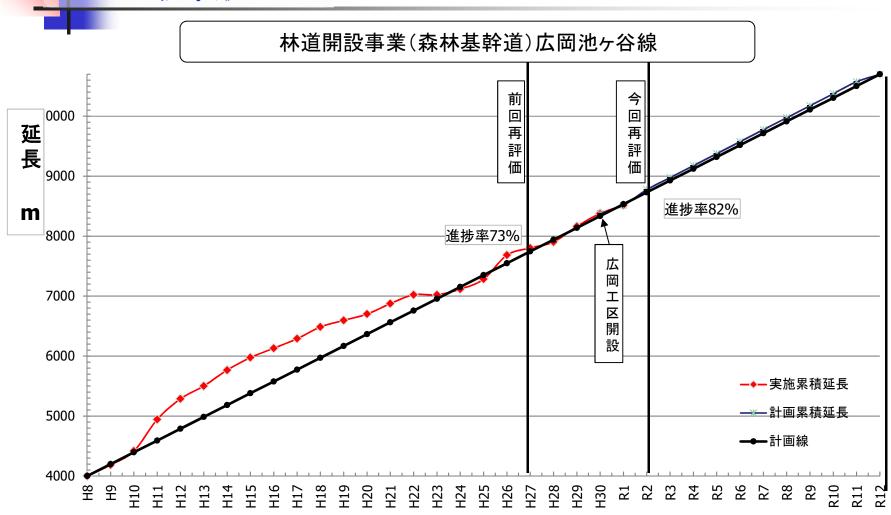
総便益(B)=71億4, 193万円

総費用(C)=30億9, 462万5千円



費用対効果指数(B/C)=2.31

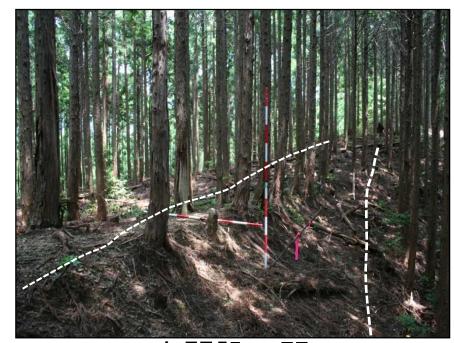
林道 広岡池ヶ谷線 進捗状況



林道 広岡池ヶ谷線



供用区間



未開設区間

林道 広岡池ヶ谷線 森林整備状況





林道から分岐する作業道

林道沿線での間伐の状況



令和2年度 徳島県公共事業評価委員会

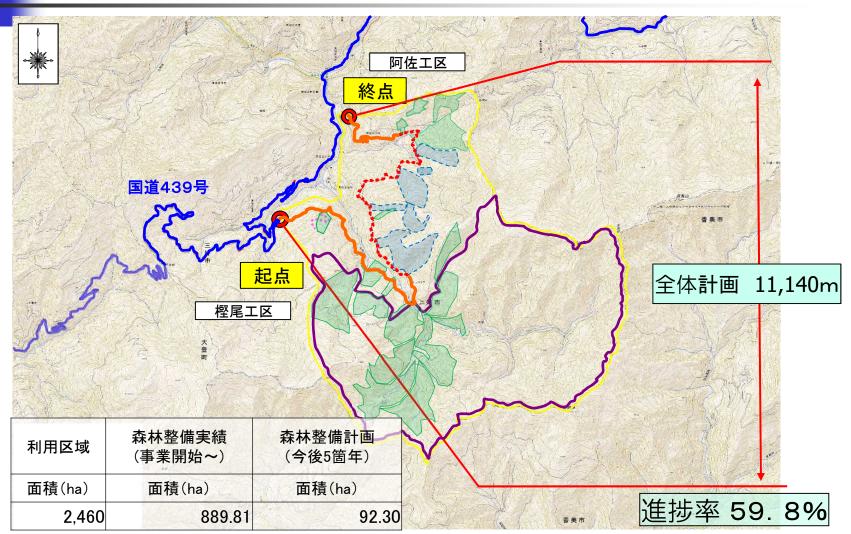
1 林道開設事業 広岡池ヶ谷線

2 林道開設事業 樫尾阿佐線

樫尾阿佐線



林道 樫尾阿佐線 位置 図



林道 樫尾阿佐線 費用対効果分析

評価期間(70年間)=事業期間(30年間)+耐用年数(40年間)

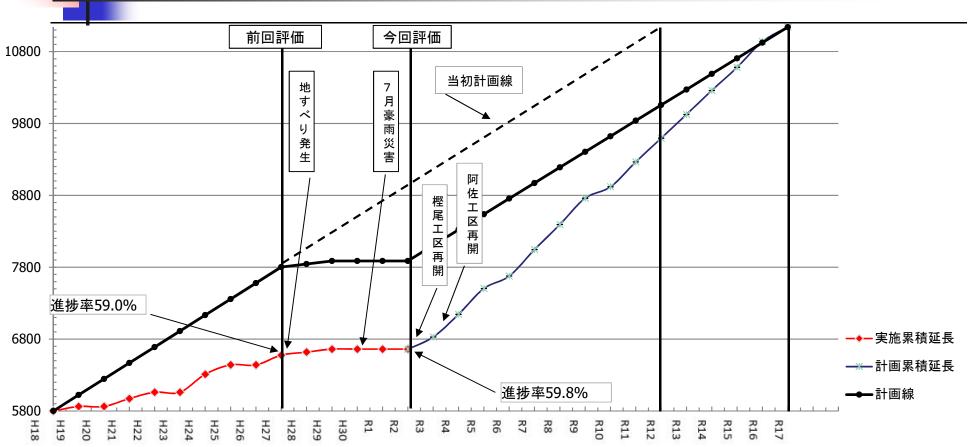
総便益(B)=36億6,806万5千円

総費用(C)=19億5,922万円



費用対効果指数(B/C)=1.87







林道 樫尾阿佐線 供用区間の状況



山留めブロック擁壁の傾き (阿佐工区終点)

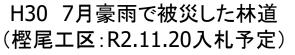


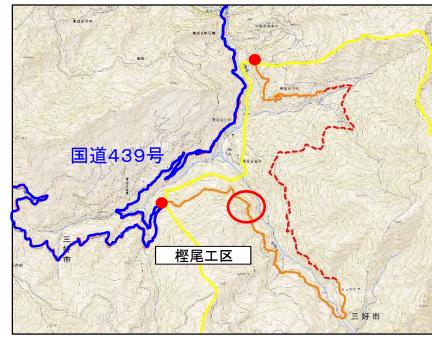
被災箇所位置図



林道 樫尾阿佐線 供用区間の状況

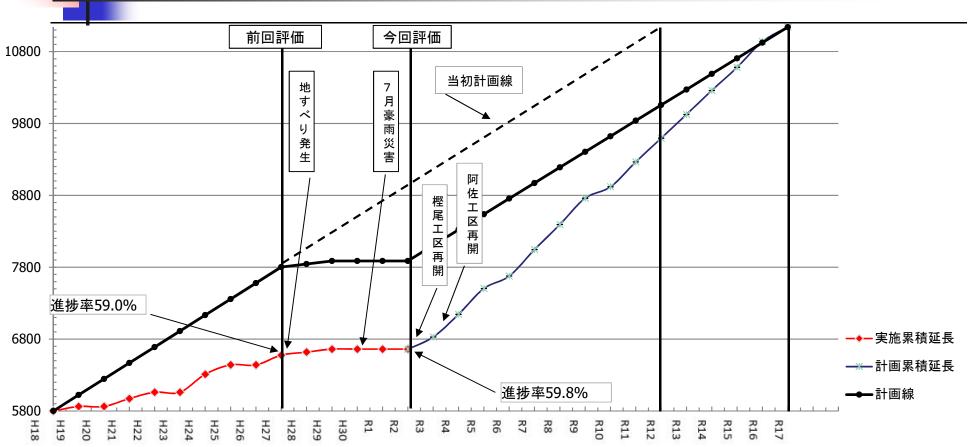






被災箇所位置図







林道 樫尾阿佐線 供用区間の状況







林道開設事業における

コスト縮減及び木材利用の取組







丸太筋工と根株の有効活用

林道開設事業における

コスト縮減及び木材利用の取組





視線誘導杭丸太伏工

